

新入職員リフレッシュ研修

4月に入職し、新しい環境で揉まれつつも、看護師の仕事をも明るく楽しく頑張っています。

5月に行われた新入職員リフレッシュ研修では、先輩も参加し、課題解決に取り組むグループ活動を行いました。最初はとても緊張し、ぎこちなさもありましたが、どうすれば成功できるか先輩からアドバイスをもらったり、仲間と声掛け、提案をしていくうちに笑顔や笑い声が増え、良い結果に繋がっていきました。

野外炊さんでのカレー作りなど日頃はなかなかできない貴重な経験もできて、同期や先輩との絆が深まったと感じました。



山陽病院 4階病棟 看護師 高尾直希

おひさま保育園作品展

7月24日・25日に作品展を開催いたしました。今年のテーマは「夏まつり」です！自分たちの作品をおうちの人に見てもらい、みんな嬉しそうでした。



こんにちは赤ちゃん 赤ちゃんが誕生しました★



山陽病院
リハビリテーション科
理学療法士
川口さん
2026年3月出産
第1子（男）



山陽腎クリニック
准看護師
大西さん
2026年4月出産
第2子（女）



特別養護老人ホーム
しんがい
介護福祉士
高橋さん
2026年5月出産
第2子（女）

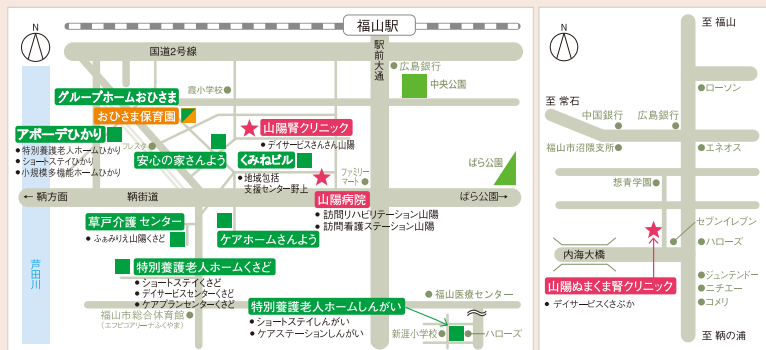
【お詫び】

前号の新任医師の名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

（正）
山陽病院 内科
あおやま ゆうき
青山 祐樹

〔医療法人辰川会〕
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel (084) 923-1133(代) Fax (084) 923-1158
山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel (084) 928-5500(代) Fax (084) 928-5535
山陽ぬまくま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科
〒720-0311 福山市沼隈町草梁2031-1 Tel (084) 980-0034(代) Fax (084) 987-3450

〔社会福祉法人さんよう〕
特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市草戸町5丁目8番24号 Tel (084) 973-9911(代) Fax (084) 928-9988
特別養護老人ホームしんがい
〒721-0955 福山市新道町3丁目19番27号 Tel (084) 961-3955(代) Fax (084) 9261-3950
特別養護老人ホームひかり
〒720-0831 福山市草戸町3丁目6番1号 Tel (084) 961-3480(代) Fax (084) 961-3484



ふれあい

〔グループ理念〕 ともに歩む、ともに生きる



146
2026.9 発行
TAKE FREE

辰川会 広報誌

山陽腎クリニック院長就任のごあいさつ



山陽腎クリニック 院長
くらわき そう
倉脇 壮

7月より山陽腎クリニック院長を拝命いたしました。

これまで広島大学病院腎臓内科に所属し、関連施設で腎臓内科・透析医療に携わってまいりました。院長という立場にはなりませんが、まだまだ学ぶべきことも多く、まずは職員の皆様に教えていただきながら、山陽腎クリニックの診療をしっかりと支えていきたいと考えております。透析治療は、医師だけ

で成り立つものではなく、看護師、臨床工学技士、事務職員、栄養部門、送迎や清掃に関わる方々まで、多くの職種の連携によって支えられている医療だと感じています。職員が働きやすく、意見を出し合える雰囲気大切にしながら、患者様に安心して通院していただけるクリニックを目指してまいります。至らぬ点多いかと存じますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

山陽ぬまくま腎クリニック院長就任のごあいさつ



山陽ぬまくま腎クリニック 院長
たかま そういちろう
高間 総一郎

7月より山陽ぬまくま腎クリニック院長を拝命いたしました。

重責を担うにあたり、身の引き締まる思いでございます。これまでは主に島根県内の病院で勤務し最終的に安来市で29年間勤め上げた後、ご縁があって当地で働く機会を与えていただきました。

当院は開設以来、地域に根差した医療を提供し、多くの患者様とご家族、ならびに

地域の医療・介護・福祉関係の皆さまに支えられて発展してまいりました。今後は職員がやりがいを持って働ける職場づくりに務めるとともに、地域の皆さまから「このクリニックがあってよかった」と思っていただけるよう、全職員一丸となって取り組んでまいります。皆さまには、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

辰川会グループ×福山シティFC ～夢をともに～〔第4弾〕



「サッカーは、勝敗だけではない。」

福山シティFC 新谷まみ

福山市をホームタウンとして活動する福山シティFCのクラブミッションは、「すべての人に、『生きる勇気』と『明日への活力』を。」スポーツには、人と人をつなぎ、街を元気にし、新しい出会いや会話を生み出す力があると信じ、日々活動しています。6月21日、福山通運ローズスタジアムにはクラブ史上最多となる6,319人が集まりました。その景色は、一日で生まれたものではなく、選手、スタッ

フ、同じエンブレムを背負うアカデミー、パートナー企業、行政、地域の皆さま、そしてファン・サポーター。それぞれの想いが重なり、一つの景色が生まれたと感じました。「備後福山から世界へ。」この日見た景色は、クラブにとって大きな自信となりました。これからも、このまちの皆さんとともに、まだ誰も見たことのない景色を創り続けていきます。



選手の会場入りを多くの観客が待つ



満員のメインスタンド



背番号6 高田選手は6人の観客時代を知る一人

第3回さんよう健康フェスティバル開催

事業本部 田中朱蘭

5月30日、山陽病院にて「第3回さんよう健康フェスティバル」を開催しました。好天にも恵まれ、約300名もの方々にご来場いただきました。心より御礼申し上げます。

今年も血管エコー観察など病院ならではの体験をはじめ、ウクレレ演奏やバラ栽培講習、福山シティFCフットサルクラブReinaの選手との交流など大盛況と

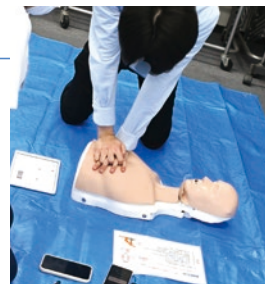


BLS研修

参与兼看護連携支援マネジャー 藤井美江

「万が一の際、迷わず動ける備えを」との思いから、今年度も全職員対象のBLS（一次救命処置）訓練を実施しました。音楽に合わせ「強く、早く、絶え間なく」行う胸骨圧迫。姿勢に苦戦しながらもアプリで採点し、互いにアドバイスをし合いながら確認しました。「1分が

長く感じた」といった声もありましたが、胸骨圧迫の大変さを肌で知ること、命を繋ぐ意識を高める良い契機となりました。



外部発表

第71回 日本透析医学会学術集会・総会 6/19～22 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル他

- ・表在化動脈合併症の検討(口演発表) 山陽病院 外科部長 医師 毛利教生
- ・新規AVF造設後早期の超音波エコー評価によるアクセス予後規定因子の解析(口演発表) 山陽病院 外科 医師 橋本慎二
- ・シャントマップを活用した穿刺方法の工夫による透析効率改善の検討(ポスター発表)

- ・V-22TA導入による貧血指標とESA使用量への影響(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 リーダー 篠原佳勝
- ・持続グルコースモニタリングを用いた血液透析中低血糖の実態検討(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 三宅智也
- ・持続グルコースモニタリングを用いた血液透析中低血糖の実態検討(ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 富永雄介

第76回 日本病院学会 7/2・3 国立京都国際会館

- ・「生成AIの普及を阻む壁とは？」～医療現場における生成AI定着の障壁と突破口～(ポスター発表) 山陽病院 事業本部 SE 吉村彪真

第35回 日本腎不全外科学会学術集会 7/11・12 軽井沢プリンスホテル ウェスト

- ・吻合部狭窄の治療戦略(口演発表) 山陽病院 外科部長 医師 毛利教生
- ・腹膜透析導入後に発症した直腸脱に対して外科的治療を要した1例(口演発表) 山陽病院 外科 医師 橋本慎二

第11回霞学区認知症ひとり歩き声かけ訓練

地域包括支援センター野上 社会福祉士 服部末桜星

6月27日、霞小学校体育館で「霞学区認知症ひとり歩き声かけ訓練」を実施しました。今年は霞学区の住民の皆様をはじめ、他学区や行政・警察・企業など多方面からご協力いただき、総勢81名が参加しました。

訓練では「認知症の方が道に迷っている」という場面を想定し、参加者が二人一組で高齢者役に声をかけ、警察や地域包括支援センターへつなぐ一連の流れを体験しました。さらに、今年は山陽病院もの忘れ外来・岩本先生によるミニ講座の動画もあり、認知症への理解を深める時間となりました。

認知症による行方不明者の約半数は地域住民の通報で発見されています。無事に保護するためには地域での早期発見が大切です。住み慣れた地域で安心して



暮らし続けられるよう、日頃からの見守りや、声をかけあえる地域づくりが求められます。今後も地域住民一人ひとりの見守りの輪を広げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげていきたいです。

第76回日本病院学会

事業本部 システムエンジニア 吉村彪真

7月2日に開催された第76回日本病院学会in京都で人生初のポスター発表をしてきました！

DX推進担当として2年前から導入はしたものなかなか成果をあげられていない、「生成AI」について

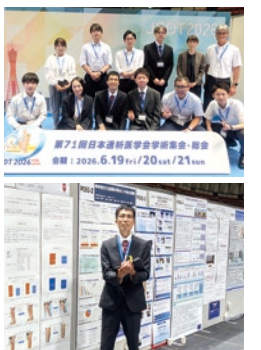
第71回日本透析医学会学術集会・総会

山陽腎クリニック 臨床工学技士 リーダー 篠原佳勝

第71回日本透析医学会学術集会・総会に参加しました。この学会は透析医療に携わる多職種が全国から集い、最新の研究や臨床の知見を共有する国内最大規模の学術集会です。

私は「シャントマップを活用した穿刺方法の工夫による透析効率(CL-Gap)改善の検討」をテーマにポスター発表を行いました。私にとって初めての外部学会での発表であり、緊張もありましたが、日頃の取り組みを

多くの医療従事者に発信できる貴重な経験となりました。発表終了後には他施設のスタッフから質問をいただくなど、多くの方に興味を持っていただけたと感じております。日頃の実践が他施設にとっても参考になると実感でき、大変有意義な発表となりました。



福山シティFC主催 子どもお仕事体験

山陽病院 4階病棟 看護師 中村友音



©FUKUYAMA CITY FC 2026

6月21日、福山シティFCのホームゲーム会場にて「こどもお仕事体験」のブースを出展いたしました。当日は、手術用ガウンの着用や包帯巻き、聴診器を

使った心音聴取などを体験していただきました。最初は緊張していた子どもたちも、体験を進めるうちに笑顔になり、楽しそうに取り組む姿がとても印象的でした。保護者の方からも「貴重な体験になった」と嬉しい声をいただき、医療の仕事に興味を持っていただく良いきっかけになったと感じております。私自身にとっても、相手の目線に立った分かりやすい説明や笑顔で接することの大切さを改めて学ぶ、大変貴重な機会となりました。